

## BA.4-5 対応ワクチン接種後の健康状況調査へ - 厚労省が事務連絡、重篤な有害事象・副反応疑いも

2022年11月14日医療介護 CBNEWS

厚生労働省健康局予防接種担当参事官室は、都道府県などに出した事務連絡（10日付）で、新型コロナウイルス感染症のオミクロン株 BA.4-5 対応ワクチンについて、接種後の健康状況に関する調査を実施することを伝えた。追加接種終了後12カ月までの新型コロナウイルスへの感染状況や、重篤な有害事象に係る発生状況・副反応疑い報告の実施状況などを調べる。【新井哉】

調査対象は、オミクロン株対応ワクチン（BA.4-5）の追加接種の対象者で、順天堂大医学部附属病院群（練馬病院など3病院）や独立行政法人国立病院機構（大阪医療センターなど8病院）、独立行政法人地域医療機能推進機構（中京病院など2病院）で今回の調査について説明を受け、参加に合意した人。対象者が未成年の場合は、保護者の同意が必要となる。調査結果は、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）で公表する予定。

## アナフィラキシー疑い続く、医療機関に注意喚起を - 厚労省がコロナワクチン接種対応で事務連絡

2022年11月11日医療介護 CBNEWS

厚生労働省健康局予防接種担当参事官室は、新型コロナワクチン接種に伴うアナフィラキシー発症者への対応に関する事務連絡（10日付）を、都道府県、市町村、特別区の衛生主管部（局）に出した。【新井哉】

アナフィラキシーへの対応を巡っては、厚労省健康局長と医薬・生活衛生局長が連名で、予診時にアレルギー疾患の既往歴や、アナフィラキシーを含む即時型のアレルギー反応の既往歴について確認することなどを求める通知（2021年3月15日付）を出していた。また、オミクロン株 BA.4-5 対応ワクチンの接種に関して、アナフィラキシーが疑われる死亡事例が報告されている。

事務連絡では、アナフィラキシーが疑われる事例が引き続き報告されているため、各自治体に対し、接種会場での体制などを改めて確認することや、管内の医療機関に注意喚起を行うよう求めている。

## ワクチン接種後に2人死亡 新型コロナ「BA.5」対応型 厚労省

11/11(金) 時事通信社

厚生労働省は11日、新型コロナウイルスのオミクロン株派生型「BA.5」に対応するワクチンを接種した42歳と87歳の女性2人が死亡したと明らかにした。調査した専門家は87歳女性の接種と死亡の因果関係について「評価できない」とした。42歳女性は調査中という。同日開かれた厚労省専門部会で報告された。42歳女性は5日に米ファイザー製ワクチンの4回目接種を受けた後、体調が悪化。約15分後に呼吸が停止した。医師が強いアレルギー反応「アナフィラキシー」の治療に用いる「エピネフリン」の投与を試みたが、静脈のルートが確保できなかったという。

87歳女性は糖尿病などの基礎疾患があり、接種から3日後に死亡した。

接種後の死亡を巡っては、愛知県愛西市で5日、42歳女性がワクチンを打った後に体

調が急変し死亡。厚労省は 10 日、自治体にアナフィラキシーへの対応を確認するよう求めた。同省は、接種後に死亡した人の氏名や居住地を公表しておらず、報告されたケースが愛西市の女性かどうか明らかにしていない。